

2023.09.17. 聖書預言・アップデート 主に仕える（待ち望む）

### JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。天のお父様。はい。あなたは偉大な事をなさいます。偉大な事をなさって来られています。あなたが、これから起こる素晴らしいことを行い続けるのを、楽しみにしています。でも私たちは、理解するため、あなたを求め、あなたに目を向ける必要があります。今朝、私たちが御言葉に触れるのを助けてくださいますか？ どうか私たちに語り、心を静めて下さいますように。今朝、私たちに平安と明晰さを与えてくださいますか？ イエスの御名によって。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインの方も歓迎します。見て下さって大変嬉しいです。始める前に、「3つのC」と愛称する Container/コンテナ・Car/車・Care/配慮の最新情報をお伝えしたいと思います。そう思いつきましたので、お知らせしておきます。もちろん、私たちの家族のマウイ島についてです。コンテナの最新情報から始めましょう。兄弟マイク・ラオからです。この港湾労働者・港湾作業員の方々全員にエールを送りたいと思います。この人たちは凄いですよ。ありがとう。ありがとう。ありがとう。主があなたがたを祝福されます。キリストにある多くの兄弟たちが、船着き場で疲れ知らずに働いています。マイクが私にくれたテキストメッセージを分かち合いたいと思います。

「アロハ、JD 牧師。今日、ホノルルの監督者と話をしました。50 コンテナの内、43 コンテナが既にマウイに到着しました。物資供給はまだ継続中です。神は、すべての物資が必要としている人々のもとに無事に届くよう大変ご忠実になさっています。主を褒めたたえます。そのほとんどは40フィートのコンテナで、ごく一部は20フィートのコンテナです。まだあと6~7個、40フィートのコンテナがホノルルにあります。(マウイ側の)在庫が少なくなり、不足したらただちに輸送します。現時点では、当面の必要性は満たされていて、義援金が今最も必要とされているようです。」

ちなみに、私たちが他の全てと合わせてしていることは正にそれです。それがコンテナについてです。車について話します。実は、あまり多くを語ることはできません。私たちは前進していますが、慎重にならなければなりません。少なくとも今のところ、私たちが取り組んでいることについて具体的に説明することはできません。悲しいかな、またしても行政管理的な障害があるからです。皆さんの祈りを切望します。祈りを切望するといえば、ペリーとローリー・アレンのこの写真で、配慮したいと思います。祈りを切望するといえば、ペリーとローリー・アレンのこの写真で、配慮したいと思います。スティーブ・サントス牧師は、ペリーと私を繋いでくれました。スティーブ・サントス牧師は、ペリーと私を繋いでくれました。彼は、体の70%以上に火傷を負い、ストラアブ医療センターの熱傷病棟に入院している妻、ローリーのためオアフに来ています。画面は、炎に巻き込まれ燃え盛る車から、彼女がかろうじて脱出した後の写真です。画面は、炎に巻き込まれ燃え盛る車から、彼女がかろうじて脱出した後の写真です。彼女は、マウイ島からオアフ島に空輸されました。率直に言って、彼女がまだ生きていることさえ奇跡です。これをなさっているのは神です。彼女はまだ生きているのです。70%の火傷を負っては生き延びれないからです。私たちが教会としてしていることは、経済的な援助と食料の援助です。食料の支援に興味のある方は、正面の案内コーナーにチラシを置いてあります。そのチラシには、彼らが運ぶ食事支援のスケジュールへのリンクがあります。とても簡単なので、特定の日に申し込むこともできます。それは大きな助けになるでしょう。財政的なことは私たちが何とかしていますが、食事について、あなたがその一端を担われないなら、大きな祝福となるでしょう。彼女はペリー同様、しばらくここにいないことになりません。何度

も何度も手術を受けることになるでしょうから。OK。最後に、また決して忘れてはならないのは、主の御心なら、また「私たちがまだここにいるなら」今週の木曜日、9月21日、スティーブ・サントス牧師を招きます。改めて、主の御心なら、またしても許可が下りました。昨日スティーブと話しまして、GOです。留意ください。特に、オンラインの方開始時間は、午後7時半ではなく、7時からです。午後7時から始めます。スティーブと1時間半の大半を過ごしたいからです。二人でこの壇上に上がって、マウイ島で神がマウイ島の人々のためにしておられる事、他では聞けない多くの事を、彼に語ってもらい、私たちに分かち合ってもらいたいと思います。どうか知っておいてください。神は、神にしかお出来にならない通り、神にしかお出来にならない事をなさっておられます。ですから、オンラインの方、ハワイ時間午後7時が開始予定時間です。

それでは、始めましょう。第一礼拝は「聖書預言・アップデート」毎週、長年してきました。第二礼拝は、ハワイ時間11時15分からライブ配信の「説教」、聖書を節ごとに学びます。現在「第一ヨハネの手紙」で、今日は5章に入り、今日の箇所は最初の5節です。今日の学び、実はとても楽しみにしています。励ましのメッセージとなるからです。励ましが必要ですよ？（会衆：はい！）

打ちのめされ、奮起を必要としている人たちへの励ましのメッセージです。それが第二礼拝です。YouTubeやフェイスブックでご覧のオンラインの方、ウェブサイト JDFarag.org に直接行かれ、中断なし、検閲なしの今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧になるのを勧めます。これらのプラットフォームで配信するのは、本編前だけだからです。OK。今日のアップデートで私が成し遂げたいのは、私も含め私たちのすべての注意を、主を待つため、主に向け直す事です。ただ主を待つだけではなく、主に仕える事。(wait for と wait on は)同義語のように思えるかもしれませんが、でも、ちょっと違うのです。よろしければ、「イザヤ書」から始めます。このことが、人類史のこの時期の聖書預言という観点から、なぜ最も重要なのかを説明するために、「イザヤ書30章18節」から始めます。

—イザヤ 30：18—

それゆえ主は、あなたがたに恵みを与えようとして待ち、...

「待って下さい。主が待っておられるのですか？」そうです。「なぜですか？」

...あなたがたに恵みを与えようとして待ち、それゆえ、あわれみを与えようと立ち上がられる。主が義の神であるからだ。幸いなことよ、主を待ち望むすべての者は。

「イザヤ書64章4節」、

—イザヤ 64：4—

としえから聞いたこともなく、耳にしたこともなく、目で見えたこともありません。あなた以外の神が”自分を待ち望む者のために、”このようにするのを。

「イザヤ書40章」、これは多くの方の友、お気に入りでしょう。28節から読みます。

—イザヤ 40：28—

あなたは知らないのか。聞いたことがないのか。主は永遠の神、地の果てまで創造した方。疲れることなく、弱ることなく、その英知は測り知れない。

—イザヤ 40：29—

疲れた者 (JD 挙手) には力を与え、精力のない者には勢いを与えられる。

許してほしいのですが、30節は、私が本当に大好きなのです。この年齢で、お、皆さん笑っておられますね。なぜなら、イザヤは聖霊に導かれこう書いているからです。

ーイザヤ 40:30ー

若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。

これ最高でしょ。年寄りも、団結する。

ーイザヤ 40:31ー

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。

なぜ私はこのように始めるのか？ 理由は、まず、主を待つという言葉（英語）にある種の区分があります。説明します。多くの場合、主はご自分が待つ必要があると判断されるかもしれません。主が私たちに恵み深く、憐れみ深いためそうすることで、今度は主を待ち望む人々を祝福するために。皆さん分かりましたか？ 言い換えれば、主は待っておられます。だから、私たちも待たねばならない。主が待つことが適切だとお考えになったからです。私たちは、主に待ってほしいのですよ。神は、決して遅れる事はあられないと言われています。神は、遅れられる事もなく、早すぎる事もありません。真実は、あなたも私も、主に早過ぎてほしくありません。こう考えてみてください。主が待たれるなら、言わば、延期です。なぜなら、もっと良いことを手にしておられるからです。もし主がこれから先、なさろうとしていることを今、なさるのなら、その時に、なさろうと思っておられることに比べれば、良いことではありません。ですから主は待っておられます。ですから待って下さい。ええ、でも私は待つのが大嫌いです。ええ、待って下さい。あなたは、主のために待つ。主がなさられるために、主のために待つ事は、あなたにとってこの上ない祝福になるからです。主は、あなたに恵みを与えられ、主は、あなたに慈悲深くあられます。神の延期は、神の否定ではありません。決まり文句ですが、真実です。

次に2つ目、主は、私たちが疲れてしまった時私たちが力を新たにするため、主を待つ（wait for）だけでなく、主に仕える（wait on）ことも必要だと思われるかもしれません。主を待つという言葉（wait on）には、ウェイターという考えも含まれます。お、政治的に正しくないのは分かっています。「君は、奉仕人だ。」「OK。構いません。」ウェイターやウェイトレスとも、執事やスチュワードとも呼びません。ええ、ごめんなさい。自分自身を問題に追い込んでいますね。賜物ですけど。今は客室乗務員と呼ばれますもんね。なぜその話にいったのか分かりませんが、そうになりました。追加料金なしで。でも、昔はウェイターと呼んでいた人たちです。ウェイターはあなたに仕えてくれます。「ウェイターさん！」やり過ぎですか？ ポイントはわかりますね？ どうかこんな風に大きく頷いてください。「ポイントは分かりました！」と。先に進めますので。お付き合いください。これが主を”待ち望む”であり、“仕えている（waiting on）”をも意味する言葉です。あなたは、主を待ち望み、主の食卓で主に奉仕する。あなたの主人の食卓で、あなたは主人を待ち望み、主人に奉仕している。主に仕える、主を待ち望むのいずれにせよ、受け身であることではありません。「何をしていますのですか？」私は待っているのです。「待っているの？」そう、待っているんだ。それは主に仕えるという意味でも、主を待つという意味でもありません。主に仕える、主を待つのもどちらも、受け身ではなく、能動的で、私たちは、主に仕えることに積極的になって、聞いて下さい。主の来臨を早めなければなりません。「何ですって？」さあ、頼みますよ。「第一・第二ペテロの手紙」の節ごとの学びにおられた方は、特殊な節「第二ペテロの手紙3章12節」の最初の部分を覚えていますか？ 使徒ペテロが聖霊によって書いています。

ーII ペテロ 3:12ー

そのようにして、神の日が来るのを待ち望み、到来を早めなければなりません。

「主の到来を早めなければならない?」「どうやってするのか教えて下さい。」はい、教えましょう。私たちがどうやって主の来臨を早めるのか。私たちが分かち合い、祈りによって、イエスを人々に、人々をイエスに導くとき、イエスの到来を早めます。

そう、救われなければならない最後の異邦人がいます。(ローマ 11:25 参照)

あなたがここにいるか、オンラインで見ているなら、救われてよ!!! 家に帰りたいたいだから。OK。胸のつかえが取れました。これは皆さんが、、分かってます。その最後の異邦人を永遠に証人保護下に置かねばならないと思います。その意味が分かりますか? 私たちが、その最後の人が誰かを知れば、「君か〜!!!」OK。そんな風に考える私のために祈ってください。でもそれが主の来臨を早める方法です。私たちが主を届けることにより、主に仕えることで主にあって私たちの力は新しくされます。代名詞の使い方が巧みでしょ。でも私たちの力が新しくなるだけでなく、喜びが戻ってきます。これが「ネヘミヤ記 8 章 10 節」、

#### —ネヘミヤ 8:10—

**主を喜ぶことは、あなたがたの力だからだ。**

それが力の生じる方法です。あなたは疲れていますか? 主を待ち望み、主に仕えなさい。あなたは主にあって力を新たにできます。聖典聖句はこれを繰り返していますよ。主に仕え、主を待ち、主から新たな力を受け、主のために力強く用いられた者たちについて。「第一サムエル記 30 章」、ダビデは、私はダビデが大好きです。会うのが待ちきれません。ダビデと一緒にいた部下の 600 人については知ってますよね。そう彼らは、ツイクラグに戻ってきました。その地は、火で焼き払われていました。恐ろしい事に、ダビデの妻たちも子どもたちもアマレク人に、連れ去られていました。想像しがたいのは、話の詳細に息を飲みます。この男たちの痛み、彼らは戦士ですよ。とても強烈です。

彼らは泣き崩れ、もう泣く力が体になくなるまで泣きます。(I サムエル 30:4 参照)

あえて言えば、彼らの涙腺が干からびたのでしょう。ただ、嘆き、うめき声をあげるだけ。そのとき、ダビデは大変な苦境に立たされ、部下たちが自分に刃向かい、自分を殺そうと騒ぎ立てているのを知り、ダビデは主にあって自分自身を奮い立たせます。どうやって、ダビデは自分自身を主にあって奮い立たせるのか? 主に仕え、主を待ち望み、主に尋ね求めることによって、彼は主にあって力づけられます。皆さん繋がりますか? 今から見ていくことを理解するうえで聖書預言の観点から大変重要です。そうしてダビデは、主にあって奮い立たされ、その結果、アマレク人を奇跡的に撃破し、彼らの戦利品をすべて奪い、さらにその 10 倍を手に入れます。神だけが可能で、常にご忠実である通り、彼らの妻たちと子どもたちを完全に回復させ戻されます。全員が無傷で、手もつけられず、奇跡そのものです。これは、勝利も敗北も、成功も失敗も、多くの例や経験のひとつにすぎません。聖霊に導かれ、ダビデは、イスラエルの甘美な詩人として多くの「詩篇」を書きました。「詩篇 27 篇 13 節 14 節」、長年、私にとっての人生の聖句です。ダビデが聖霊によって書いています。

#### —詩篇 27:13—

(欽定訳:私は心を失っていただろう) **もうそこまで来ていた。「もしも 私が 生ける者の地で主のいつくしみを見ると 信じていなかったなら——。」**

翻訳によっては、「確信していなかったら」言い換えれば、「私はもう諦めようとしていた。もうほとんど心を失っていた。もうほとんど降参していた。(直訳:タオルを投げようとしていた。)ほとんど止めようとしていた。この悪い状態から良い結果が生まれると信じていなかったならば。神だけが、この悪いこと

を用いて、良いことをもたらすことがお出来になるから。私はその良いことを見るのだ。でも待たねばならない。子どもの頃を覚えていますか？「待ちなさい。分かるから。」それを聞くのが大嫌いでした。「待ちなさい。今にわかるから。」「嫌だ。今見たいんだ。待つのは嫌い。」「いいえ、待ちなさい。今にわかるから。」そう、これらの2節は、「待ちなさい。今にわかるから。」他にもいくつかあり、そのいくつかを今から紹介します。そう、それが14節です。ここでダビデは、終わりにいます。彼は、終わりです。その時ダビデは、、、独り言ではなく、自分自身に言います。違いは分かりますね。前にも言いましたけど、お付き合い下さい。独り言と、自分に話すのには違いがあります。詩篇全体、特に詩篇42篇と43篇は、多くの人が1つの詩篇だと信じていて、ダビデはそれを繰り返しています。彼はこんな風に自分に語ります。「坊や、座りなさい。話がある。」彼は自分自身に言います。「なぜそんなに絶望しているのか？お前は、再び主を賛美する理由が持てる。なぜお前は、、、」ダビデは自分に話しています。これがあまり変でなければいいのですが、「JD、座りなさい。」(向かい側に回って)「何だ？」変ですか？ダビデは自分自身に対話し、自分に言い聞かせています。

#### 一詩篇 27：14-

**待ち望め 主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。**

(欽定訳：主はあなたの心を強めてくださる) 待ち望め 主を。実は、これについては第二礼拝でもっと話すつもりです。「詩篇37篇」を見ましょう。これもまた、多くの人々の友です。「詩篇37篇7節」に注目ください。

#### 一詩篇 37：7-

**主の前に静まり 耐え忍んで主を待て。 その道が栄えている者や 悪意を遂げようとする者に腹を立てるな。**

それから「詩篇37篇34節」、

#### 一詩篇 37：24-

**主を待ち望め。主の道を守れ。主はあなたを高く上げ 地を受け継がせてくださる。あなたは悪しき者どもが断ち切られるのを見る。**

待ちなさい、分かるから。待つのです。今に分かるから。私だけですか？ 待つのです。今に分かるから。待つのです。今に分かるから。それがありません。エリヤについて話しましょう。これはもう一人の、、、この人物に会うのが待ちきれません。「第一列王記19章4節から8節」、エリヤは完全に混乱しています。「第一列王記19章4節から8節」、エリヤは完全に混乱しています。エリヤは完全に力尽き、不満を爆発させます。それで十分でないなら、もう十分だから、死にたいと祈ります。(I列王記 19：4参照) ええ、読んでください。その箇所には記されています。エリヤは死にたい。すると御使いが現れて、エリヤに言います。

「起きて、食べなさい。旅の道のりはまだ長いからです。」(I列王記 19：5~7参照)

エリヤは起きて食べます。実に、私はこれが大好きです。それが彼のすること。エリヤは食べてまた寝ます。(6節) これは聖書的です。お知らせしておきます。私の話で拘りです。「何をしていますのですか？」食べて、寝ています。ここに記されています。聖書的です。それで、この結果、エリヤは主にあって力を取り戻します。この後の40日40夜のため、彼にはそれが必要です。彼は、鷲のような翼で口を開き、彼は走っても、疲れない。(イザヤ 40：31参照) エリヤは力を与えられます。彼が弱って、疲れて、痛めつけられているから。「第一サムエル記13章8節から12節」、私たちは、こんなサウルの例でそれを

ひっくり返してみます。こんなサウルの例でそれをひっくり返してみます。主を待たず、その圧力に屈してしまふ。サムエルが約束の時間に来なかったので、サウルは非常に焦り、部下たちも焦りました。「サムエルはどこにいるのか？ 彼はここにいるはずだ。」7日間待って、彼は言います。「戻ってくるのを待てと言うから、我々は待っていたが、彼は戻って来ない。」それでサウルは何をするでしょうか。そう、彼は7日間待ちます。興味深い詳細ですね。それから、誰がたまたま現れるのか。サムエルです。サムエルは”約束の時間”通りに来ます。引用：サムエルが定めたように、(I サムエル 13:8 参照/口語訳) 非常に重要です。でも遅すぎます。サウルは待たず、自らの危険を犯し、言い訳を始めます。彼は、主を待たず、自分の焦りを正当化しようとします。何が起こるかご存知ですか？ その結果、彼の不従順が王国を失わせ、最終的に、彼の命を奪うこととなります。またしても話の詳細は、非常に興味深いです。彼はサムエルに言います。「そうせざるを得ないと感じた。」おお、あなたは感じたのですか？ おお、そうか、あなたはそう感じた。私はそう感じていない。どうやらサウルがそう感じた。おお、信仰によってではなく、感じる事によって歩み、生きている。ふむ。。その瞬間の感情に基づいて決断を下し、それが破滅的な結果を招く。時間があればいいのですが、感情に基づいて、遠大な決断を下したり、致命的な決断を下す例については、これまで何度も話してきました。エサウだと考えながら、ヤコブの腕を触り感じたとき、聞いた言葉がヤコブのように聞こえても、自分が感じる感情はエサウで、その感情に基づいて決断を下したから。これは、言わばその場の勢いで決断を下すことの非常に強烈な例を、非常に簡略化したものです。そうせざるを得ないと感じたから。「とてもしっくり感じるんだ。」注意してください。こういう誰かの言葉を聞いたり、自分で言ったことはないですか？「とても正しいと感じるものが、どうしてこんなに間違っているのか？」じゃあ、御言葉を見ましょう。「罪は一時的な快楽である。」つまり、、それは別の機会の別の題材です。既に進行中のアップデートに戻りましょう。「牧師さん、あなたは一体どこへ向かっているのですか？」ええ、これが私の言いたいことです。私たち皆が、ギルガルのサウルで、ツイクラグのダビデで、ベエル・シェバの荒野のエリヤです。私がこう言う時、皆さん同意しますか？ 主にあって自らを強めるとどんな希望も、主に仕え待ち望むことによるのみ得られる。特に、もう少し踏み込んで言うなら、ラッパが鳴り、私たちがこの世から携挙されるまで今、世に、世へ起こっている全ては、主が弱者に力を与えてくださるなら、それが私たちの唯一の希望です。今日の残りの時間で、このことについてもっと具体的に説明したいと思います。再度、先に述べた通り、聖書預言に関連して、これが非常に重要な理由を。でも先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。まだの方はウェブサイトへどうぞ。

#### 一本編一

で、別のリストを作ってみました。私のリストに、飽き飽きされませんように。出てくるのは、まだまだあります。でもこの特別なリストは、私たちが主の力を受けることができるよう、主に仕え、主を待ち望むことを示します。理由は、イザヤが語る通り、弱った私たちに力を与え、疲れた私たちに力を下さる主が必要な時があるとすれば、それは今です。簡単に言えば、本当に現実になってきました。そして本当に厳しく。「どういう意味ですか？」ええ、ソロモンが伝道者の書で語ります。

「知識が増せば悲しみも多くなる。」(伝道者 1:18 参照)

世はそれを造語で「知らぬが仏」と呼んでいます。ええ、もう少し無知のほうが至福を味わえるのにも思いますが、神の御言葉と御言葉の神を知れば、何が起こるか分かるし、それに付随して起こるの

は嘆きと悲しみです。私たちが知っている聖書預言が全て起こるのを目の当たりにする時、厳密に言うと、それらは起こりつつあるのではなく、この世に既に到来しています。人類史の最後のこの時に。疑う余地なく。時間の関係上、そのリストを5つに絞り込みました。でも、今起きている預言は他にも数多くあり、現実になってきていることをどうか知っておいてください。

No.1 は、、、理由があって、これから始めます。「黙示録 18 章 23 節」以前、複数のアップデートで取り上げました。地上のすべての国、すべての国民が惑わされると記されています。「何に惑わされるの？」惑わすものは、新約聖書原語のギリシャ語で、最後の医薬解決策として、「ファルマキア」英語の薬局、薬剤の由来です。この預言の鍵は、2面あります。

#### ①世界的大虐殺

#### ②ファルマキア(薬剤使用、魔術)によってもたらされる

で、皆さんに尋ねます。世界の全ての国民が、これによって惑わされていますか？ これは No.2 の話と重なり、イエスは「マタイの福音書 24 章 22 節」で、ユダヤ人国家の救いが目的の 7 年間の患難時代について語っておられます。もう一度言わせてください。患難時代の目的は、ユダヤ人国家の救いです。それは「ダニエルの第 70 週」、「ヤコブの苦難の時」です。ヤコブとは？ 通称：イスラエルです。イエスが、かつてないほど、またもう二度と見る事はない苦難の時、大変な苦難の時になると仰っていて、その時期、その日数が少なくされないなら、どんな肉にある者も、人間も生き残れないと仰っています。

「何から生き残れないのか？」大虐殺からです。肉にある人間は。今から言う事についての言い方に気をつけたいと思います。人々は死んでいっています。遺体安置所、葬儀場は、満杯。世界中、世界各地で。待たなければならない。「どれくらい？」場合によっては数週間。場所によっても。「なぜ？なぜそんなかかるの？」非常に多くの人が死んでいっているからです。それが最短なのです。「じゃあ、なぜ死んでいっているの？」この最終解決策、この最終医薬的解決策で死んでいっています。それが世界的大虐殺です。

#### 全ての国々の民が惑わされているからです。(黙示録 18:23)

イエスは仰います。患難時代に、、、私たちは今、その寸前にいます。神がこう仰らねばならないほど、大変酷い。「もうよい。十分だ。わたしはこれを終わらせる。わたしは日数を少なくする。わたしはこれを、(こんな言い方をしているのですか?)」スピードを上げる。そうしなければ、これで生き残る肉にある者はないから。」それが今、起こっているのですよ。ちょっと先走っていますが、こう言います。今、この全てが起こっているのです。私は毎週の私の特権から皆さんの前に立って、これから起こることを話しているのではなく、私は毎週の私の特権から皆さんの前に立って、これから起こることを話しているのではなく、今既に起こっていることを話しているのです。

No.3 繰り返しますが、このリストは、私が選び、凝縮したものでそれらがこの、つまり図式を完成させるからです。

No.3 「第二テサロニケ人への手紙 2 章」全て厳しい章です。全て預言です。「携挙」「反キリストの出現」「引き止める者が取り去られる」が記されていて、非常にパワフルな欺瞞と、強い惑わす力が真理を拒絶した者に臨み、嘘を信じる事が記されています。で、再度皆さんに尋ねます。強い惑わす力がありますか？ パウロが聖霊によって「第二テサロニケ人への手紙 2 章」に書いた、不法の秘密は既に働いていますか？ 最近学んだ「第一ヨハネの手紙 2 章」の、反キリストの霊は、既に世にありますか？ 私は本当にそう信じているし、私は.....。このことで非難されることもあります。「構いません。どうぞ非難すれ

ばいい。」私は、反キリストは既に健在だと信じます。彼が何歳なのか分かりませんが、おそらく年齢もそこそこ上だろうと思います。反キリストが誰かについては、時間的に左右される傾向があります。私は探していません。私はイエスを求めます。反キリストが誰なのかを、やみくもに当てるつもりはありません。(直訳：反キリストのロバにしっぽをピンで留めようとしな)なぜそんなことが口から出たのか分かりませんが、私は(誰なのか)気にしません。本当に気にしません。でも彼はすでに舞台裏で健在だと思います。彼は教会が取り除かれるまで、表に出て来れません。それが「第二テサロニケ人への手紙」2章3節です。しかし、私が言いたいのは、No.4にいく前に強調しておきたいのは、私が言いたいのはこういうことです。

私の質問は：この強力な欺瞞が世界中にあるのがわかりますか？

この強い惑わす力がわかりますか？ 人々は魔術にかかっています。悪魔的です。そうだから。悪魔的。悪魔的な惑わしで、悪魔的な妄想で、それが既に起こり始めています。私たちは毎日、一日中、回りの至るところでそれを目にしています。今起こっています。

No.4 これに不必要な時間を費やさないようにしたいと思います。私はしがちですが。「第二ペテロの手紙3章」、終わりの時、携挙をあざけり、嘲笑する者が著しく増えると言われています。「待ってください、牧師さん、それは再臨の文脈だと思います。」OK。わかります。そうとしましょう。でも、はっきりさせておきます。携挙は、再臨の7年前に起きます。だから両方の意味です。どうですか？ 聖化された言いようです。分かりませんが。「主の来臨でしょ？」OK。いいでしょう。

最初が携挙。主は地上に来られません。私たちをこの世から連れ出されます。それから続いて、7年の患難時代後、主は、私たちと一緒に再臨されます。携挙は、主は私たちのために来られ、再臨は、主は、何万人もの花嫁の私たちを主の側に引き連れて一緒に来られる。ですから両方です。それで大丈夫ですか？ 彼らは両方嘲笑します。でも特に、携挙を。特に、患難時代前携挙を。私は、しないと書いていたことをまさにしてますね。でも、最後のNo.5に進む前に、これについて最後に言わせてほしいのは、「かかってこんか〜い！」なぜなら、あなたがしていることは、患難前携挙の直前に、あなたのような人々が私たちのような人々に患難前携挙についてをいかに非難するかの預言成就を確認しているだけだからです。ですからどうぞ。さあ、私を嘲笑ください。冷笑し、嘲笑いなさい。私についてジョークを言い、ユーチューブで私についての動画を作りなさい。そこで止めます。私は本当にそれをしてしまってるから。

No.5、胸が張り裂けます。「第二テモテへの手紙3章と4章」、終わりの時、際立ちます。終わりの日の目印となる特徴です。危険な時代が来ます。使徒パウロは聖霊によって、19のリストを挙げていて、これは世に対するものではなく、教会に対してです。いつから私たちは、聖霊の力によって再生した人たちのような振る舞いを世に期待するようになったのですか？ そうじゃなく、これらは危険な時代、終わりの時の兆候：クリスチャンの人たちがどうなるかです。それをよく考えて下さい。そしてその特徴は、健全な聖書の教えに耐えられなくなる人たちです。これはまた別の、、、彼らは我慢しない。彼らは辛抱しない。彼らはそれを聞かない。実際、彼らは、健全な教えに耐えられないだけでなく、健全な教義を教える者を非難します。どうやって？ 流行のかっこいい自分に合う気持ちのいいメッセージが15分語られる通りの向こうの教会に行くことで。その牧師は、、、きっと皆さんは、この想像なしで残りの人生過ごせたのに。私がスキニージーンズを履いているところを想像できます？ 失礼。全てが流行でかっこよく、まあ、凄〜い。あなたは聖書を教えていますか？ 「いいえ〜聖書は持ってますよ。」これから聖書をどう教えるつもりですか？ 「いいえ、聖書から一節を引用するね。」いや、でも御言葉を教えるつ



もりですか？ 御言葉を宣べ伝えますか？ なぜなら、あなたが御言葉を教えない、宣べ伝えないなら、それなら、私はここから出て行きます。私は養われる必要があって、靈的に飢え死にしそうだから。綿菓子クリスチャンでは生きていけません。これから起こることを考えれば、それは必ずぶち当たるのだから。あなたが今まで、、、あ”～ 一拍手喝采一

教会に座っている人々の中には、このような事態にぶち当たったら、十分な備えができない人々がいます。息子や娘が死んだら、診断が下されたら、夫や妻が去ったら、子どもたちが道を誤ったら、彼らは靈的な強さがありません。健全な教えという堅固な岩の上に人生の土台を築かねばなりません。

そうでなければ、あなたがたは倒れ、その倒れ方は酷くなります。(マタイ 7:27 参照)

胸が張り裂けそうになります。私は自分の主との歩みについて考えます。御言葉に根ざしていなかったら、私は今日、皆さんの前に立っていなかった。私は人々がとても気の毒に思えます。

では、、、ここでいったん落ち着く時間をください。この5つの預言には共通点があります。

1) 黙示録 18:23 には地上のすべての国々は、大量虐殺という「最終的な」医薬品による「解決策」に惑わされると書かれている。
2) マタイによる福音書 24 章 22 節で、イエスは、もし患難時代の「最後の」日々が短縮されなければ、どんな肉にある者・人間も生き延びることはできないだろうと言われた。
3) テサロニケ人への手紙第二 2 章には、強力な欺きと強い惑わしが、真理を信じない者に偽りを信じさせることが書かれている。
4) 第二ペテロの手紙 3 章には、終わりの時、携拳をあざけり、嘲笑する者が著しく増えると書かれている。
5) 第二テモテ 3~4 章では、終わりの時代は危険な時代となり、健全な聖書の教義に耐えられない者が現れると書かれている。

その共通点は、健全な教えです。健全な教えとは、もう時間の問題だという事です。待ちなさい。今に分かるから。もう今、既に起こっています。では、今すぐにでも起こるとするのが理に合っていないですか？ 私は5つ取り上げました。多くの預言から5つを厳選し選びました。私たちの目の前でリアルタイムに既に起こり始めています。そして、私たちが既に、これらのことが実現し始めているのを目にしているのなら、今そうです。そうなら、顔を上げて下さい。もう時間の問題だから。待ちなさい。今に分かるから。私たちの贖いが、刻一刻と近づいています。もう扉の所に来ています。「ルカの福音書 21 章 28 節」、イエスが話しておられます。「ルカの福音書 21 章 28 節」、イエスが話しておられます。

一ルカ 21:28一

これらのことが (キーワード) **起こり始めたら、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。**

それが理由です。待つて下さい、主よ。私がこれらのことが起こり始めるのを見たら、それらが今起こり始めているからです。仰っているのは、時間の問題だから、顔を上げ、頭を上げなさい。「わたしは来る。」わたしは来る。分かりました♡

では、「マタイの福音書 24 章」で、イエスが他に何と仰ったか聞いて下さい。15 節と 16 節に注目下さ

い。まず、文脈は、これは 7 年の患難時代のユダヤ人に対する事、再度、ユダヤ人国家の救いのためです。「マタイの福音書 24 章」は実は、このことについては話しましたから、深くは入りませんが、携挙は「マタイの福音書 24 章」には書かれていません。私にとっては難しい問題でした。でも、私は気づきました。「待てよ、これは携挙じゃない。」それからすべてが再び理に適い始めました。イエスがここでしておられることは、具体的にユダヤ人に向かって 7 年の患難時代を語っておられるのです。その理由が分かります。15 節から、

—マタイ 24:15—

それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が聖なる所に立っているのを見たら——読者はよく理解せよ——

—マタイ 24:16—

ユダヤに（エルサレムに）いる人たちは山へ逃げなさい。

多くの人々が、現在のヨルダンのペトラだと信じています。待ってください。イエスは今、ダニエル書の忌まわしいものについての預言に言及されています。ええ、「ダニエル書 9 章 27 節」で、聖書の全ページの中で、最も具体的で詳細な預言のひとつであることは間違いありません。読んでも良いですか？

「ダニエル書 9 章 27 節」、この「堅い契約を結ぶ」という言葉に特に注目してください。彼は「堅い契約を結ぶ」旧約聖書原語のヘブル語で、私の母国語のアラビア語と同じ単語で、"ガバール" "ヘクビール" より大きい。より強い。

—ダニエル 9:27—

彼は一週の間（7年間）、多くの者と（より）堅い契約を結び、...

指を出すのを止めます。下を向いておきます。

...半週の間（7年の中間点 3.5 年で）、いけにえとささげ物をやめさせる。...

神殿の翼の上に（NIV 聖書）神殿が、7 年の患難時代の初期に、建設されている事を意味します。再建された神殿で忌むべき荒廃をもたらす。

...忌まわしいものの翼の上に、荒らす者が現れる。...（それをイエスが参照されています）...そしてついには、定められた破滅が、荒らす者の上に降りかかる。

OK。「牧師さん、なぜまた今日、それを指摘するのですか？」明日、起こる事の故に、です。明日、何が起こるのか？ おお、サウジアラビアは、イスラエルとパレスチナの和平プロセスを見直し、確認し、強化することが目的のこの国連イベントを共催します。以下は、先週の木曜日、『タイムズ・オブ・イスラエル』紙の報道からの抜粋です。ハワイ時間木曜日の朝、このニュースが報じられました。

—引用—

「中東和平のための平和の日の取り組みと題したこのイベントは、...9 月 18 日（月）に実施されます。明日です。私たちがまだここにいるなら。この記事には書いていませんけどね。

...サウジアラビアが、アラブ連盟と欧州連合と共に、エジプトとヨルダンと協力して実施。」

皆さん、基本的に「エゼキエル書 38 章」の預言そのままを示しているのが分かりますか？ 木曜日に「エゼキエル書 24 章」を学び終わりました。「エゼキエル書 25 章」からは、終盤にかけての転換点です。エゼキエルの預言の口調と調子が変わります。30 章以降になると。待ちきれません。待ちなさい。待ちきれません。私たちがまだここにいるなら。でもエゼキエル書 38 章、特に 13 節に入ると、ロシア、イラン、トルコが中心の国家連合が、北のシリアからイスラエルを侵略することに抗議するとして、サウジアラ

ビアの古代名が挙げられています。エゼキエル書 38 章の具体的預言で興味深いのは、やはり非常に詳細なのが、古代の名称で言及されている国々だけではなく、そうでない国、つまりイスラエルと和平協定を結んでいるエジプトとヨルダンです。13 節のサウジアラビアは、この国家連合の一員ではなく、この国家連合の侵略に抗議すると記されています。彼らは何をしたのか？ 彼らは聖書を読んでこうなった？

「おい、サウジアラビアに電話しろ。」彼らは抗議する必要があります。それがこの預言です。ここから興味深いところです。

ー引用継続ー

「アントニオ・グティエレス国連事務総長が基調演説。」なぜそれが興味深いのか？ はい、国連の「持続可能な開発目標/SDGs」に含まれていることを考えれば、この預言的重要性を誇張しすぎることはありません。SDGs はその頭文字です。明日から開催される SDGs サミットの基調演説に、前述のアントニオ・グティエレス国連事務総長が登壇するのが一目瞭然です。理由は、今年初め、彼は、明日の 2023 年国連総会に向けた計画の優先事項を概説し、こう発言しました。

ー引用ー

「2023 年は最終審判の年だ。」分かりました。彼は続いて、提案の核となるこの要素を説明しました。「平和のための新たな計画」この「平和のための新たな計画」は、6 月 13 日に国連経済社会局から発表されたタイトルが、タイトル：「SDGs を達成するために、7 年間の変革的行動の加速が必要」（再活性、ヘクビール、より強化するために）SDGs：平和を含む 17 項目です。

さっといくつか引用します。聖書が語る通りですよ。既に今日実施されます。実際明日です。

ー引用ー

「今後 7 年間、残されたチャンスは限られている……。」6 年じゃなく、8 年じゃない。7 年です。だから、2023 年は最終審判の年です。では、2023+7 は、ええ、私は数学が得意でしょ。2023+7 = 2030 すなわち、「アジェンダ 2030」すなわち、「持続可能な開発目標/SDGs アジェンダ 2030」「我々には 7 年が必要。」どうぞどうぞ。じゃあね、あなたみたいになりたくないわ。じゃあ、次の 7 年間は何のために必要なのか？ どうやらその窓は閉まりつつあるようで、機会は狭まっているから、今がその時で、2023 年の最終審判の年からあなたがたには次の 7 年間が必要。どうするつもりですか？「おお、我々は「ダニエル書 9 章 27 節」の倍増、強化、強制、堅め、我々の努力を再活性化する。」おお、

ー引用継続ー

「各国首脳は、(笑ってしまってすみません。) SDGs の約束を実現するため、国内外を問わず、加速的かつ持続的で、(倍増、再活性化、そのすべての) 変革的な行動を 7 年間、国内及び国際的に続けることを約束しなければならない。」

おお、SDGs の約束とは？「2030 年までに 17 の目標を達成すること。持続可能な開発目標」あなたはそれを約束したのですか？ 早く行った方がいい。「努力はしているが、7 年は必要だ。」OK。さあ、ショーを始めましょう。してくださいよ。聖書には、これこそまさにあなたがしようとしていることだと書かれています。なので、してください。

「OK。牧師さん、なぜ聖書預言・アップデートのタイトルを”主を待ち望む”とつけたのですか？」

理由は、この「待つ、分かる」「待ちなさい。今に分かるから。」は、私たちが分かるまで、きっとそれほど長く待たないからです。どういう意味ですか？ おお、思うに、その「待ちなさい。」は、患難時代前携挙で、主と空中で会うのは、今すぐにでも起こり得ます。待ちなさい。今に分かるから。待ちきれま

せん。これが「聖書預言・アップデート」をする理由もう長年してきています。聖書預言通り、私たちは終わりの時にいます。私たちには、イエスを人々に、人々をイエスに導く、ほんの少しの時間があります。私たちは、福音/イエス・キリストにある救いの良い知らせを、できる限り早く人々に伝え、できる限り多くの人々に届けねばなりません。福音/ゴスペルとは何でしょうか？ 基本的に、福音/ゴスペルと言う言葉の意味は、「良い知らせです。あなたの負債は支払われました。あなたは自由です。」福音/ゴスペルという言葉の意味です。で、何の負債？ 誰が支払ったの？ おお、イエスが全額支払ってくださいました。あなたの負債の罰則を。死の罰則である罪の罰則を。それが良い知らせ、福音です。「救いのABC」は、あなたを備えるシンプルなツールです。神が、あなたの前に導いた誰かとあなたがイエスを分かち合うために使える、子どもにでも分かるシンプルなものを備えられるのです。

A：自分が神に背いた罪びとだと、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

なぜなら、、、雑な言い方を許してほしいのですが、救世主が必要だと認めなければ、なぜ救世主が必要ですか？ 先日、ちょうどこのことを考えていました。いや、、、はい、言います。これが私の最後の聖書預言・アップデートになるかもしれませんから言います。ええ、私はすべてのアップデートを最後のように説いていますよ。皆さんご存知だと思います。ある日、そうなります。だから私はあなたに大声で叫びたい。イエスの御名によって。でも、この一連のこと、"アメリカを救え" "救世主" 私は救世主を求めているのではありません。私には既に救世主がいます。私はそれを買わなかった。イエスが私を買われた。私は自分のものではありません。代価を払って買い戻されました。私には既に救世主がいます。そう、いやいや、(主よ) もう進めていいですか？ はい、分かりました。

**ローマ人への手紙 3章 10 節、**

**「義人 (正しい者) はいない。一人もいない。」**

誰も正しい者はいません。あなたは良い人かもしれませんが、(神の御目から) 十分よろしくありません。

**ローマ人への手紙 3章 23 節**がその理由、

**「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」**

それが「罪」という言葉の意味です。アーチェリー用語で、「的を外した。」射手が矢を放ち、的を外すと言われます。「あなたは届いていない。的を外した。」私たち誰しもが罪びとです。誰もが的を外していて、神の完璧な義の基準に届いていません。私たち誰しもが、神の掟を破っているという意味です。それに罰則があるのです。私たちは、地球の裁判官と宇宙の法廷にいます。どうやって弁明しますか？ 罪です。判決は？ 死の罰則です。あなたはそこで、罪の有罪を受けます。あなたは自分の罪の罰則で、死刑を宣告されます。

**「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)**

その時、その宇宙の法廷にある人が入ってきます。地上の審判をする人です。普通の人ではありません。神の人です。子なる神が、宇宙の法廷に入って来られ、地球の裁判官に仰います。

「わたしがその人の代わりに死にます。わたしがその人の代わりに、その人の死の罰則を支払います。」裁判官はあなたを見て言います。地元の人なので、「ほ～！ 良い知らせだ。あなたの負債は支払われた。あなたは自由だ。」それがイエスのなされたことです。イエスは死なれ、代価を支払ってくださいました。イエスが私たちを買い戻されました。イエスは、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちという神の贈り物を購入され、イエスのご自分の全てを懸けてその贈り物を支払い、私たちに差し出して下さっています。贈り物ですから、私たちが支払ったのではありません。私たちが支払うなら、贈り物ではな

く購入品です。イエスは、ご自分の命で支払ったこの贈り物を私たちに与えてくださいます。イエスは仰います。「さあ贈り物です。受け取りなさい。」良い知らせです。でも、受け取らない贈り物は贈り物ではありません。受け取らなければなりません。次に B は、大変中心です。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

「ヨハネの福音書 3 章 16 節」、聖書の中で一番有名な箇所です。私たち皆が知っていて、引用します。

—ヨハネ 3：16—

神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。それは御子（イエス）を”信じる”者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

最後に C、これは心で信じたことで生じる表現です。心に満ちていることを口が話すのです。

(マタイ 12：34)

イエス・キリストが主であると C：Confess/告白する。主の御名を C：Call/呼び求める。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

ローマ人への手紙 10 章 13 節、

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

先週話しましたが、さっと言ってから、「しかし、神は。」の証で締めくくります。ご忍耐感謝します。常に覚えていてほしいのです。聖書は明確です。すべての膝が屈められ、すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白します。(ピリピ 2：10~11)

唯一の違いは、今、イエス・キリストを主だと告白するなら、救いのためです。でもすべての膝が屈められる時にするなら、天罰のためです。言い換えれば、誰もがイエス・キリストが主であると告白する時が来ます。

では今日の「しかし、神は。」の証は、シャノン・ブラズウスキーさんからです。シャノン、私がお名を正しく発音していますように。

「親愛なる JD 牧師へ、まず、なんという恵みでしょうか。神の御言葉が臆することなく教えられ、同時に、疲れている人々を励まし、一刻も早く人々をイエスのもとに、イエスを人々のもとに導くため私たちが生きている時代の真理が明るみに出されることが。時は短いだから。私の「しかし、神は。」を書きたいと思ったことは何度もありましたが、実行したことがありませんでした。しかしながら、9月3日日曜日の預言・アップデートを聞いて、書かなければならないと思いました。なのでお便りします。1993年に高校を卒業して、卒業写真の下に選んだコメントは、牧師が言っていたのを聞いた言葉でした。そのときは、それが聖句だとは気づきませんでした。

「苦難が忍耐を生み、それが品性を育てる。」(ローマ 5：3-4 参照)

その言葉がどれほど預言的なものになるか、私は分かりませんでした。一人っ子の私は甘やかされ、自己中心的でした。世界は私を中心に回っていると思っていたし誰も違うと論ずことはできなかった。

しかし、神は。この放蕩娘を、彼女の魂の真の恋人のもとへ、決して離れず失望させない唯一の人のもへ

連れ戻すために必要なものを、主は正確にご存知でした。若くして結婚し、子どもがたくさんいて、収入は1つだったので、ストレスが多く、もうやっていけないと思う日も多かったです。しかし、神エホバ・ジレは、私たちに必要なものは何でも与えてくださいました。子育てをする中、私たちは「Growing Kids God's Way」のクラスを受講し、(覚えている方もいるかもしれませんが、昔はそうでしたね。)そして学んだトレーニングを実践しました。私はどこに行くにも、誰かに子どもたちと彼らの素行を褒められないと気が済みませんでした。これはネブラスカでもオハイオでも、そしてフロリダに引っ越したときでも、何年もの間、日常茶飯事でした。自分では気づきませんでした、褒められ続けたせいで、傲慢な精神が芽生えてしまいました。誰かを見下す精神ではありませんが、少なくとも私たち家族には、そんなことは起こらないという精神でした。高慢は破滅に先立ち、高ぶった霊は挫折に先立つ。(箴言 16:18) その挫折はどれほどなののでしょうか。主が許されたすべての痛みについて詳しくは述べませんが、2018年10月、長男(第3子)が自殺で亡くなりました。これは言葉では言い表せない痛みです。それ以来、主は私に多くのことを示されました。そして砕かれた時、祝福が流れます。香水がこぼれ、その香りが部屋に充満するには、アラバスターの壺を割らねばならなかったように。主が私を用いてくださるために、私は本当に砕かれねばならなかった。私は今、より多くの思いやりをもって人を見ます。自分がどれほど決めつけ、意見する人間だったのか、まったく気づきませんでした。主よ、私を許してください。私は自殺で家族を亡くした人のためのミニストリーを始めました。娘と私は、聖書や洗面用具、お菓子が入ったバッグを、救いのABCカードと一緒にホームレスの人たちに配っています。私は聖書と祈りの日記を持ち歩き、彼らに祈りのリクエストを尋ねます。傷つき、打ちひしがれている人々の気持ちを知らなければ、このように傷つき、打ちひしがれている人々に奉仕することはできなかつたでしょう。イエスはこれらの人々のために死なれ、イエスが唯一の希望です。2019年1月1日、息子を埋葬した2~3週間後、神は私をローマ人への手紙8章18節へ導かれました。その後ももちろん、ローマ人への手紙5章1-5節もでした。数年前、私が書き残した部分：品性が希望を生み、希望は期待を裏切らない。ここが私のいるところです。私は何度も、何度も辛い苦勞し、それがイエスが私に必要なすべてだと教えてくれました。イエスが必要な全てです。それが私を支え、品性を形成してきました。そして今、私には希望がある。約束された方はご忠実だからです。私は救い主に会うとき、失望することはありません。これらの苦勞は、これから起こることと比べると値しません。お、因みにそれは永遠に続くのですよ。ハワイに行けるかどうかかわからないけどまもなく、もうまもなく、空中であなたに会えることは分かっています。あなただけを、カルバリーチャペル・カネオへの家族全員を愛しています。主は生きておられるのだから。」主を褒めたたえます。

カポノ、上がってきてください。皆さんご起立ください。ご忍耐と優しさに感謝します。今日、皆さんが励まされることを願います。パウロが言ったように、主よ、祈ります。

**ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。(I テサロニケ 4:18)**

何のことばか？ そのことばは、希望：あなたのみならず、もうまもなくの来臨という祝福ある希望です。あのラッパの響きと共に、まず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に引き上げられ、携挙され、

**それから、私たちはあなたに空中で会い、いつまでも一緒にいるのです。(I テサロニケ 4:16-17 参照)**

主よ、それは祝福された希望だけでなく、唯一の希望です。私たちの多くにとって朝起きられるのも、夜眠れるのも、今日がその日かもしれないというその希望があるからです。主よ、ありがとうございます。

す。

主よ、あなたに望みを置く者は決して失望せず、(ローマ 10 : 11)

落胆させられないことを感謝します。主よ、その希望に感謝します。私たちは、あなたに仕え、あなたを待ちます。その時まで。主よ、早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7